リリース・ノート

Agile Manager 2.10

本ドキュメントでは，Agile Manger 2.10 の新機能と拡張機能について記載しています。

機能計画

- 機能をリリースに割り当てる際にバックログ項目をリリースに割り当てるための新しいオプション。機能をリリース・バケットにドラッグするか，［**計画**］ボタンをクリックします。
- 新しい機能ステータス［Scoped（**スコープ内**）］：機能が［Scoped（**スコープ内**）］に設定されている場合，その機能のリリースが計画されているが，作業がまだ開始されていないことを示します。
- 機能グリッドで，機能ごとの**集計されたストーリー・ポイント**と詳しいフッタ・データが表示されるようになりました。リリース・バケットで，バックログ項目から集計されたストーリー・ポイントの他に，機能のストーリー・ポイントの合計も表示されるようになりました。
  グリッドのフッタには，選択した全項目のストーリー・ポイントの合計が表示されます。

複数のワークスペースをサポート

ワークスペースを作成することで，複数のプロダクトやプロジェクトを 1 つの Agile Manager サイトで管理できます。ワークスペースを使用すると，データ表示のレイヤを追加することにより，エンタープライズ組織内で，スケーリングされたアジャイルの方法論を適用できます。

ユーザは，自分に割り当てられた複数のワークスペースを切り替えることができます。ユーザのワークスペースの外部の項目へも，それほど強く制限されずにアクセスできます。

ワークスペースをサポートするために，Agile Manager で次の点が変更されました。

- 設定領域の［**プロジェクト**］タブの名前を［**ワークスペース**］に変更。
- 新しく**サイト管理者**ロールを追加。サイト管理者は，ワークスペースを定義してサイト・ユーザを管理できます。
- **管理者**ロールの名前を**ワークスペース管理者**に変更。ワークスペース管理者には，自分のワークスペースでの設定権限があります。
- カスタム・フィールドがサイト・レベルで定義され，すべてのワークスペースに適用されるようになりました。
- ALI，完了の定義，ユーザ通知など，その他の設定は，ワークスペースごとに設定。

注：既存のサイトでは，管理者はすべて自動的にサイト管理者に変換されます。これは，［**サイト ユーザ**］設定ページで必要に応じて変更できます。

バックログ項目のテンプレート

ワークスペース管理者は，新しいユーザ・ストーリーや不具合を作成するためのテンプレートを設計できます。テンプレートでは，選択したテンプレートに基づいて，新しい項目ごとに説明，タスク，受け入れテストを定義します。

テンプレートは，［**ワークスペース**］＞［**ワークスペース設定**］＞［Templates（**テンプレート**）］設定ページで管理できます。

不具合管理

不具合が［Rejected（**却下**）］に設定されている場合，プロダクトの実際の不具合を表していないことを示します。不具合を［Rejected（**却下**）］に設定すると，バックログ項目がクローズされます。

ALI の更新

SCM ブランチのフィルタ処理

- ［**ソースコード**］ページで，［変更影響］ビューと［変更ログ］ビューを SCM ブランチでフィルタ処理します。ページ上部の［SCM **ブランチ**］セレクタでブランチを選択します。
- ［**変更影響**］ビューでは，［SCM **ブランチ**］セレクタは選択したアプリケーションに関連するブランチのみを表示するようにフィルタ処理されます。
- ブランチでフィルタ処理すると，複数の並列ブランチを追跡する場合や，複数のブランチから成るアプリケーションの一部にドリルダウンする場合に便利です。

バックログ項目を完了に設定するための新しいオプション

- ALI メトリックを一連のガイドラインで使用して，ユーザがユーザ・ストーリーまたは不具合を**完了**にできるタイミングを設定します。
- クローズされた受け入れテストとリンクされた不具合の条件に加えて，コード・カバレッジとユニット・テスト成功率のルールを［**ワークスペース設定**］設定ページで設定します。

計画されていない工数についての ALI の通知

ALI がリリース用に設定されている場合，Agile Manager は，開発が計画どおりに進んでいないと見られる場合，電子メール通知を送信します。このアラートによって，Agile Manager によって追跡されたステータスと実際の開発アクティビティの間に不整合の可能性がある点について注意を促すことができます。

たとえば，現在のスプリント以外のスプリントに現在計画されているユーザ・ストーリーに対する変更や，未割り当てのバックログ項目に対する変更をユーザがコミットした場合に，電子メールが送信されます。

ALI の通知設定を管理するには，設定領域で，［**ワークスペース**］＞［ALI **設定**］に移動し，［**通知設定**］をクリックします。

ALI の新しいビルドの影響レポート

新しい［**ビルドの影響**］ページを使用すると，ALI が設定されているリリースのビルド・シリーズの影響をレビューできます。この機能を使用すると，スプリント・ビルドで配信済みのストーリーや解決された不具合をレビューできます。

［ビルド サマリ］ページまたは［ビルド詳細］ページで，［**ビルドの影響**］をクリックし，レビューするビルドの範囲を選択します。

ALI Extensibility API とプロバイダ SDK

ALI では，初期状態ではサポートされていないビルド・システムや SCM リポジトリと Agile Manager を統合できるようになりました。

- ［ALI **サマリ**］設定ページで，［**統合**］の［**カスタム統合**］をクリックします。
- ALI SDK をダウンロードして，使用しているビルド・システムまたは SCM システムに対応する新しいプロバイダを実装します。

Dev Bridge の更新

ALI Dev Bridge の更新によって，Java 7 がサポートされるようになりました。ALI 管理者は，次の手順を実行してください。

- Agile Manager で Dev Bridge 更新のプロンプトが表示されたら，Dev Bridge を更新します。
- Dev Bridge サーバに Java 7 がインストール済みであることを確認します。

ユーザ・インタフェースの機能拡張

- カラムのアクションドロップダウン・メニューから直接グリッドのカラムを非表示にする。
- 標準設定のグリッド表示をカラム・セレクタ から復元する。これにより，標準設定のカラムが表示され，ユーザが定義したフィルタ，グループ分け，ソート順が削除されます。
- ［Ctrl］＋［1］キーを押すほかに，［ヘルプ］メニュー からのクイック・アクションへのアクセスを追加。

Synchronizer の拡張機能

Synchronizer で，新たに次の機能がサポートされるようになりました。

- テーマと機能のランク付けを同期する機能。この機能をサポートするには，テーマと機能のランク用に ALM でカスタム・フィールドを作成して，それぞれ新しいフィールドにマッピングする必要があります。
- ALM で定義された複数の電子メール・アドレスを持つユーザを同期する機能。該当するユーザについて，Agile Manager で同期されるのは，最初の電子メール・アドレスに限定されます。
- ALM 12.00 で保存されたプロジェクトを同期する機能。

これらの変更を適用するには，Synchronizer クライアントおよびサーバを更新してください。